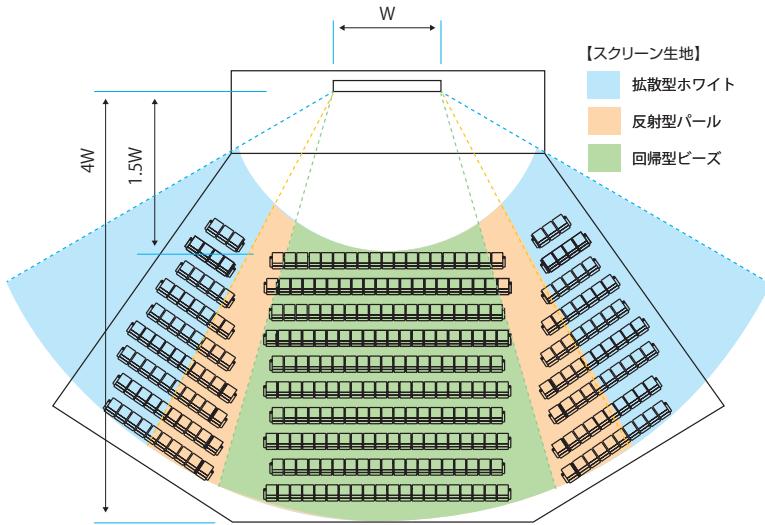


# スクリーン選定のポイント -3-

## スクリーンサイズを決める



### スクリーンまでの距離で割り出す

スクリーン設置予定の部屋の広さから、視聴者の一番後ろまで何メートル取れるかで、おおよそのスクリーンサイズを決める事ができます。

10mの距離が取れるのであれば、左の図から10m÷4=2.5 (Wのサイズが2.5m) と導き出せます。P.18のスクリーンイメージサイズ表により、120H、120Wが推奨のスクリーンという事になります。

※オーエスでは、11ポイントのテキストフォントが判別できる距離を目安にしています。

## プロジェクターを決める

通常の事務室の照明は約700lxの照度が良いと言われています。その環境で正常にデータの読めるスクリーン面の輝度は300cd/m<sup>2</sup>が必要です。輝度は次の式で求める事ができます。

$$\frac{\text{プロジェクターの光出力 (lm)}}{\text{スクリーンの面積 (m}^2\text{)}} \times \text{スクリーンゲイン} \times \frac{1}{\text{円周率}}$$

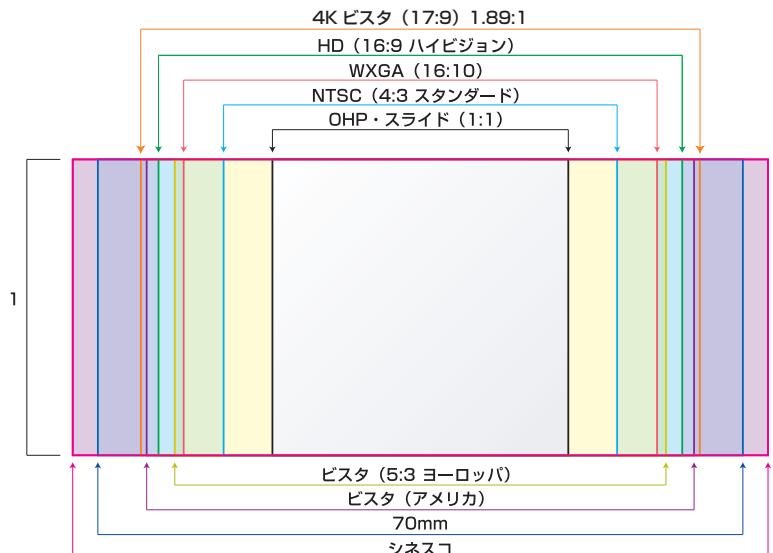
上記の式から3000lmのプロジェクターで120H-WG103のスクリーンに投写した場合に、スクリーン面の輝度は216cd/m<sup>2</sup>となり、室内照明を落とす、スクリーン生地を変更するなどの対策が必要だという事が分かります。BU201に変更した場合には649cd/m<sup>2</sup>という明るさが確保できる事になります。

※スクリーンのゲイン (▶P.24)

## スクリーンアスペクト比(画面横縦比)

スクリーンサイズはタイプによって横縦の比率が変わります。NTSCタイプ (横縦比率4:3) [旧作映画] や、HDタイプ (横縦比率16:9) [ハイビジョン]、WXGAタイプ (横縦比率16:10) [PC] などです。

図を参考に、目的にあった比率のものをお選びください。本カタログ掲載の規格品はNTSCはV、HDはH、WXGAはWで型式を表しています。



- OHP・スライド ————— 1:1
- NTSC (4:3 スタンダード) ——— 1.33:1
- ビスタ (5:3 ヨーロッパ) ——— 1.66:1
- HD (16:9 ハイビジョン) ——— 1.77:1
- ビスタ (アメリカ) ————— 1.85:1
- 70mm ————— 2.18:1
- シネスコ ————— 2.35:1
- WXGA (16:10) ————— 1.6:1
- 4Kビスタ (17:9) ————— 1.89:1